

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成25年7月25日 (2013.7.25)

【公表番号】特表2012-530804(P2012-530804A)

【公表日】平成24年12月6日 (2012.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-051

【出願番号】特願2012-516131(P2012-516131)

【国際特許分類】

C 0 8 L 27/12 (2006.01)

C 0 8 K 5/14 (2006.01)

C 0 8 K 5/3492 (2006.01)

C 0 8 K 5/3415 (2006.01)

C 0 8 K 5/12 (2006.01)

C 0 8 K 5/524 (2006.01)

C 0 8 L 47/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/103 (2006.01)

C 0 8 K 5/02 (2006.01)

C 0 8 F 14/18 (2006.01)

C 0 8 J 3/24 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 27/12

C 0 8 K 5/14

C 0 8 K 5/3492

C 0 8 K 5/3415

C 0 8 K 5/12

C 0 8 K 5/524

C 0 8 L 47/00

C 0 8 K 5/103

C 0 8 K 5/02

C 0 8 F 14/18

C 0 8 J 3/24 C E W Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月6日 (2013.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) ヨウ素、臭素又は塩素を含有する硬化部位を含む非晶質ペルオキシド硬化性フルオロポリマーと、

(b) 半減期が 10 時間である温度が 90 以下である有機ペルオキシドと、

(c) 助剤と、

を含む組成物であって、前記非晶質フルオロポリマーは、25 及び 0.1 rad / s にて 300 kPa 以下の貯蔵弾性率を有し、

前記フルオロポリマーの 90 % 硬化時間は、ASTM D5289 - 07 で封止式ねじりせん断ロータレス加硫試験機により測定すると、110 において 30 分未満である、

組成物。

【請求項 2】

前記有機ペルオキシドが 0 . 1 p h r ~ 5 p h r で存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記有機ペルオキシドが、t - ヘキシルペルオキシ - 2 - エチルヘキサノエート、t - ブチルペルオキシ - 2 - エチルヘキサノエート、ジ (4 - メチルベンゾイル) ペルオキシド、ベンゾイルペルオキシド及びこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記硬化部位が末端基である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

ヨウ素、臭素又は塩素の重量パーセントが前記フルオロポリマーの合計重量に基づき 0 . 2 ~ 2 の範囲である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記硬化部位がペルフルオロ化連鎖移動剤に由来する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記フルオロポリマーが、ASTM D 1 6 4 6 - 0 6 TYPE A に従うと、1 0 0 にて 1 2 以下のムーニー粘度 (M L 1 + 1 0) を有する、請求項 1 に記載の組成物。